

関係各位

(社)日本トライアスロン連合:JTU
理事長 濱本憲二
種目別強化委員長 山倉紀子
(公印省略)

2007年度JTU デュアスロン強化指定選手制度

①認定期間(共通):2007(H19)年4月1日~2008(H20)年3月31日

②評価基準

<対象基準>凡例:「M5%、F8%」は「1位タイムから男子+5%、女子+8%以内」

[1] 強化指定S選手

<評価対象大会と基準>

- 1) ITU世界選手権(2006年)<1~8位>
- 2) ITU世界選手権(2007年)<1~8位でM5%、F8%>
- 3) ITUワールドカップ大会(2006/07年)
<スタート人数が、40人以上で1~6位、30-39名で1~5位、20-29人以下で1~4位、
19人以下で1~3位で、M3%、F5%>
- 4) ITU世界選手権(2007年)U23カテゴリー優勝選手

[2] 強化指定A選手

<評価対象大会と基準>

- 1) ITU世界選手権(2006年)<9~12位>
- 2) ITU世界選手権(2007年)<9~12位でM5%、F8%>
- 3) ITUワールドカップ大会(2006/07年)<スタート人数が、40人以上で7~10位、
スタート人数が30-39で6~9位以内、20-29人以下で5~8位、19人以下で4~6位で
M3%、F5%>
- 4) ASTA アジア選手権(2007年)優勝選手
- 5) 日本選手権(カーフマンチャンピオンシップ2005/06)優勝選手
- 6) ITU世界選手権(2007年)<U23カテゴリー2~3位でM5%、F8%>

[3] 強化指定B選手

<評価対象大会と基準>

- 1) ITU世界選手権(2006/07年)<M5%、F8%>
- 2) ITUワールドカップ大会(2006/07年)<M3%、F5%>
- 3) ASTCアジア選手権(2007年)<2~3位でM5%、F8%>
- 4) 日本選手権(カーフマンチャンピオンシップ2005/06)<2~3位でM5%、F8%>
- 5) ITU世界選手権(2007年)<U23カテゴリー6位以内で8%、F10%>
- 6) カーフマン2005/06シリーズ<1位>

[4] 強化指定C選手

- 1) ITU世界選手権(2006/07年)<M8%、F10%>
- 2) ITUワールドカップ大会(2006/07年)<M5%、F8%>
- 3) ASTCアジア選手権(2007年)<6位以内でM5%、F8%>
- 4) 日本選手権(カーフマンチャンピオンシップ2005/06)<2~6位でM5%、F8%>
- 5) ITU世界選手権(2007年)<U23カテゴリー10位以内でM10%、F12%>
- 6) カーフマン2005各ステージ
<2~10位でM5%、F8%で、2006年JTU認定記録会ラン1~4級>

7) カーフマン2006各ステージ

<2～10位でM5%、F8%、かつ2007年JTU認定記録会及び日本陸連公認大会(2006年度)ラン1～4級>

③承認手順:

強化本部が「評価基準」により選考を行う。その後、理事会の承認を得て認定する。評価にあたっては、レース展開場の諸条件や抗議、上訴などの結果を考慮する場合がある。

④指定選手の昇格・降格:

1年ごとに見直す。各対象大会で資格を習得・昇格した場合は、資格認定の以前であっても該当資格を適用する。

⑤資格等の授与<対象: JTU登録選手>

- ・出場を希望するすべてのITUワールドカップへの出場資格 [S、A、B、Cの順に優先順位あり]
- ・大会主催者招待の優先出場資格 [S、A、B、Cの順に優先順位あり] =以上=